



クイック・スタート・ガイド

撮影画面

露光時間

タップして露光時間を調節します (コントロールパネルにて手動コントロールを有効にできます)

ISO感度

タップしてISO感度を調節します (コントロールパネルにて手動コントロールを有効にできます)

フラッシュ

オン/オフ/自動
懐中電灯機能をオンにするには長押しします

前面/背面カメラ

前面および背面カメラを切り替えます

フォーカス

フォーカスを設定するにはドラッグします

露出

露出を設定するにはドラッグします

カメラロール

アルバムまたはライトボックスにアクセスします

コントロールパネル

高度な撮影設定を行うことができます (詳細は3ページをご覧ください)

カメラモードセレクト

ビデオ・HDR・高感度+等のモードを選択します

補助シャッター

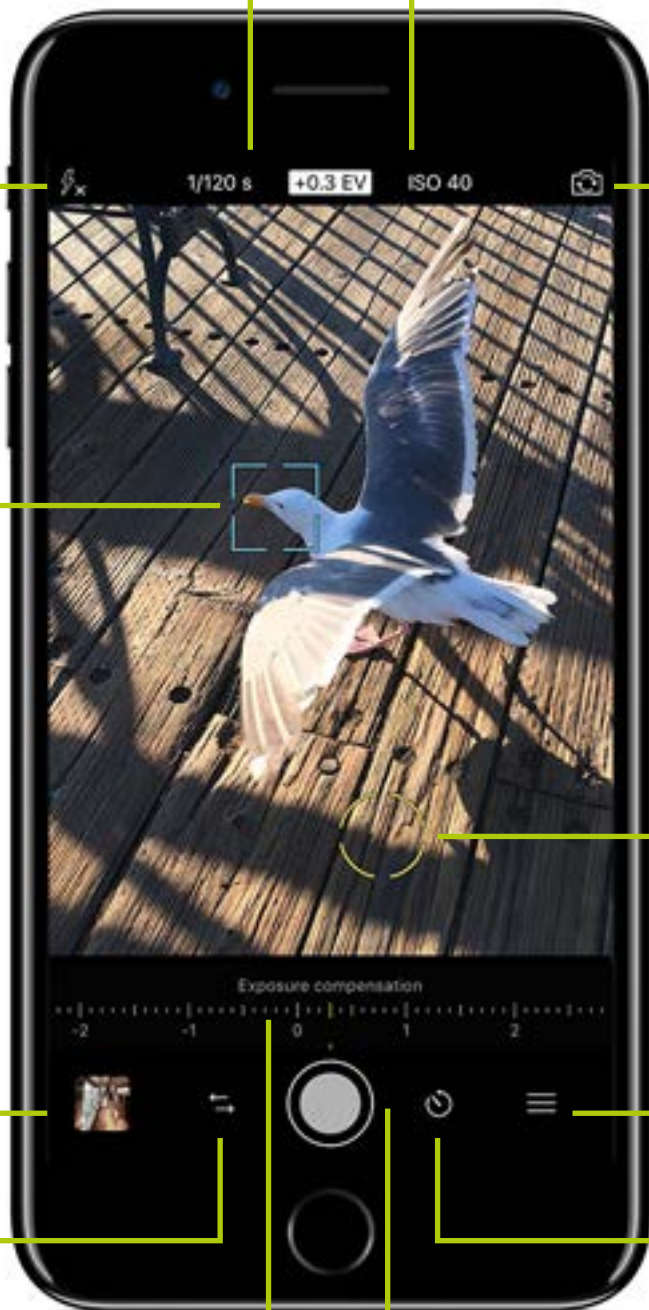
コントロールパネルにて手ブレ防止またはセルフタイマーのどちらかに設定できます

露出補正

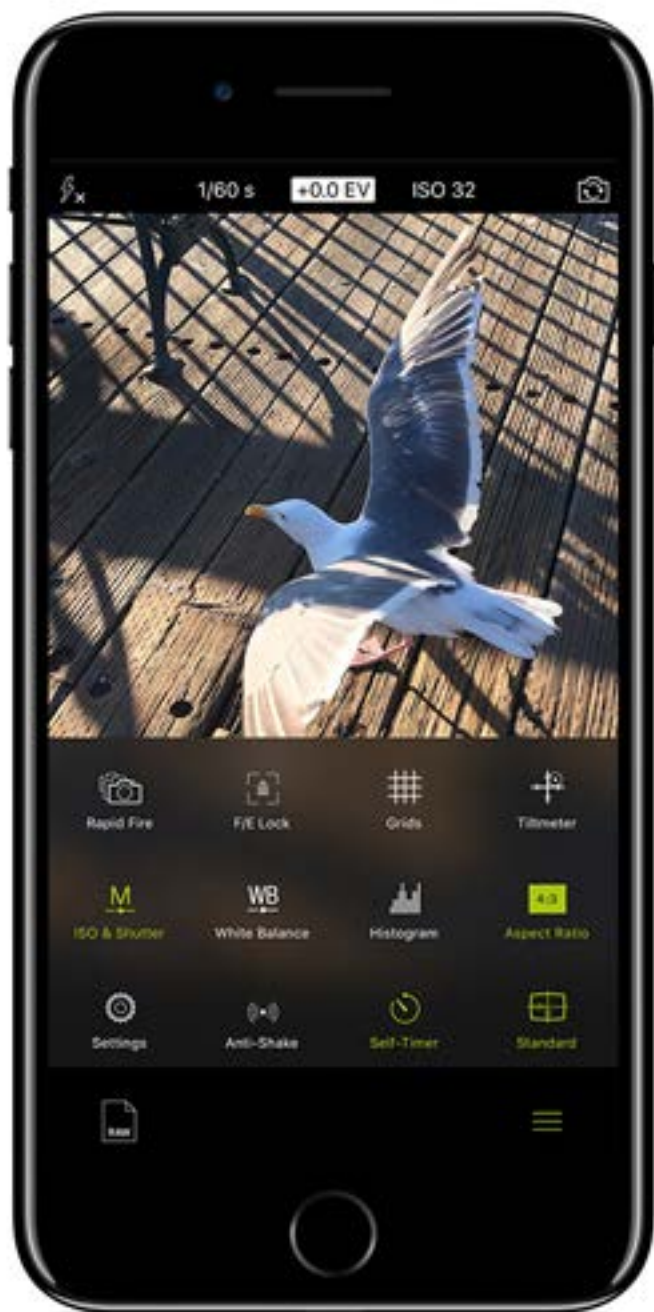
ダイヤルをスワイプして明度・暗度を調整します

メインシャッターボタン

写真が撮影されるとアイコンおよび画面が光ります



コントロールパネル



高速連写モードでは瞬時にフル解像度の写真を連続撮影することができます。



画面から指が離れた際に**フォーカスおよび露出ポイントをロック**します。



様々な**グリッドビュー** (三分割法や黄金比など) が構図の決定に役立ちます。



仮想水平**3D傾斜計**により傾きのないまっすぐな写真を撮影できます。



手動モードを有効にするとビューファインダーの上部に#ISOおよびシャッタースピード#を表示することができます。いずれかをタップすれば、手動調整用のダイヤルが開きます。



»M«をもう一度タップして**シャッター&ISO優先モード**を有効にします。露光時間またはISOどちらかの値をダイヤルで設定すれば、もう一方の値はProCameraが最適な露光になるように調整します。



ビューファインダー内で**ホワイトバランスコントロール機能**を使用するためには、WBを有効にしてください。タップするとホワイトバランスがロックされ、色温度および色合いを手動で調節できるようになります。WBアイコンをもう一度タップすれば、自動ホワイトバランスが有効になります。グレーカードキャリブレーションを使用するには、WBアイコンを長押ししてください。



全体の光源レベルを表示する**ライブヒストグラム**を有効にします。右側の赤い表示は露出過多を表し、左側の赤い表示は露出不足を表します。



様々な**縦横比** (4:3、16:9等) を切り替えます。RAW写真はフルセンサーを利用し、常に4:3の縦横比が適用されます。



ProCameraの高度な**設定**を開きます。



補助シャッターボタンで**手ブレ防止機能**を使用できるようにします。手ブレ防止機能では、iPhoneがしっかりと構えられるまで、シャッターリリースを遅らせ、よりクリアで鮮明な写真の撮影が可能になります。RAW撮影をお勧めします。



補助シャッターボタンで**セルフタイマー**を使用できるようにします。補助シャッターボタンを長押しすると、その他の設定 (**ProTimer**と呼ばれる延時間およびその他のインターバルメーターの設定) を表示できます。



3段階の**オンスクリーン表示モード**を切り替えます。»スタンダード«モードでは、すべての項目が表示されますが、»ライト«モードでは、最低限の項目しか表示されません。



使用中の**ファイル形式**を確認できるほか、お使いのデバイスで使用可能なファイル形式を切り替えることができます。

知っておくと便利

フォーカス&露出

- フォーカス&露出アイコンが非表示の場合、カメラは自動モードに設定されています。カメラは自動的にフォーカスおよび露出の設定を行います。
- 画面上をタップすることで、好みの位置にフォーカスおよび露出を設定できます。
- 画面中央をタップすると自動モードを有効にできます。
- 自動モードを使用中に画面中央をタップすることでF/Eアイコンを分割することができます。アイコンが少しずれて表示されますので、容易にいずれかのアイコンを好みの位置に移動させることができます。
- 自動モードを使用中に画面中央から直接フォーカスアイコンをドラッグします。露出のアイコンを先にドラッグできるよう設定することも可能です。
- フォーカス (F) または露出 (E) のアイコンを長押しするとロックされます。F/Eコントロールは、再度長押しするまでロックされたままになります。ロック状態では、F/Eアイコンを新たな位置に移動させても、自動でロックされます。

音量ボタン・イヤホントリガ

端末の音量ボタンやイヤホン、Bluetoothのリモートトリガを使用して写真を撮影できます。設定>ボリュームトリガで有効にすることができます。

全画面トリガ

ビューファインダー内の任意の場所をシングルタップすることで撮影を可能にするには、設定内の「全画面シャッター」を有効にします。この機能はストリートフォトグラフィーに適しています。全画面シャッターが有効になっている場合、F/Eを好みの位置に設定したり、自動モードを有効にしたりするためには、長押しする必要があります (全画面シャッターが無効の場合はシングルタップ)。

ライトボックス

有効になっている場合、ProCameraは写真やビデオをアプリ内の「ライトボックス」と呼ばれる専用のアルバムに保存します。これらのファイルは、iOSのフォトライブラリ (カメラロール) にエクスポートしない限り、iOS付属の「写真」アプリには表示されません。設定からライトボックスを有効にできます。

クイックフリック

撮影画面でのドラッグジェスチャーによりメディアアルバムや設定に素早くアクセスすることができます。画面右端から左方向へドラッグすると設定が開き、画面左端から右方向へドラッグすればメディアアルバムにアクセスできます。

RAW写真

ProCamera v10では、RAW形式の写真撮影ができるようになりました。詳細については、[RAWに関するブログ記事](#)をご覧ください。

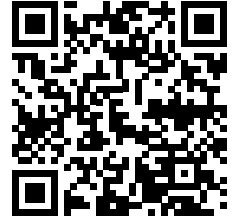
- 12MPカメラ搭載の全端末で使用可能 (iPhone 6s/6s Plus/SE/7/7 Plus)
- RAW写真は「現像前の写真」のため、表示には向いていません。しかし、DNGファイルには小さなプレビュー画像 (JPEG) が含まれています。このため、RAW写真は拡大した際にばやけて表示されますが、ご心配はいりません。実際のRAWファイルには12MPの画像データが含まれています。
- iOSの一部のEXIFビューワーでは、JPEG形式の小さなプレビュー画像の解像度のみを表示する場合があります。

RAWファイルには処理前のセンサーデータが含まれます。そのため、以下の点をご留意ください。

- ファイルには常に固有の4:3撮影フォーマットが適用されます。
- ズームは使用できません。
- iOSの画像安定化機能 (OIS/AIS) は使用できません。ブレのない写真を撮影するには手ブレ防止機能 (3ページを参照) のご使用をお勧めします。
- HDRおよび高感度+モードでのRAW撮影には対応していません。
- iPhone 7 Plus: 単一レンズ (広角または望遠) での撮影時のみRAW撮影を行うことができます。デュアルレンズモードではお使いいただけません。

リンクと資料

画像をクリックして詳細をご覧ください



FREQUENTLY ASKED QUESTIONS